

森のひろば

フォレスト・ニュース

NO.1201

令和8年4月号

林野庁 近畿中国森林管理局



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



大川沿いのサクラ（大阪市内）

トピックス：令和8年度
近畿中国森林管理局重点取組事項について（企画調整課）

ニュース：森林整備課、治山課、広島森林管理署、三重森林管理署

花草木：コデマリ

森林事務所等紹介：広島森林事務所（広島森林管理署）

国有林最前線：石川森林管理署

令和8年度 近畿中国森林管理局重点取組事項

【企画調整課】

近畿中国森林管理局では、国有林野の管理経営に関する基本計画に基づき、「国民の森林（もり）」として、公益重視の管理経営を一層推進し、その組織・技術力・フィールドを活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献すべく、「令和8年度 近畿中国森林管理局重点取組事項」を策定しました。今回は、その取組の一部をご紹介します。

1 森林・林業施策推進への貢献

① 施業の効率化の実現に向けた取組の推進

伐採から再造林・保育に至るまでの収支のプラス転換の実現に向け、これまで取り組んできた実証の成果を民有林関係者へ発信します。

また、造林作業の一層の低コスト化・省力化を目指し、引き続き、現場実証に取り組みます。



植栽6年後の様子（無下刈）
（岡山県津山市：黒木国有林）

② 地域と一体となった鳥獣被害対策の推進

鳥獣被害対策を総合的に推進するため、地域の特性に応じて、被害情報分析・捕獲・残渣処理等の有効な手段を組み合わせ実施します。

また、市町村等と協定を締結し、国有林内でシカ捕獲を行うための罠の貸出し等の捕獲協力に引き続き取り組みます。



米原市との協定に基づく
ICT 罠いわなの設置状況

③ 多様な主体と連携した森林の整備・保全

昭和100年を記念し、地域と国が協力して多様な樹種を育て、次世代へ継承する象徴的な取組として記念分収造林を実施します。

また、苗木生産者と協定を締結し、良質で成長の早い苗木の植栽を推進します。



特定苗木の植栽状況
（三重県いなべ市：悟入谷国有林）

2 公益重視の管理経営

① 国土強靱化の推進

能登半島地震及び奥能登豪雨の被災地において、民有林直轄治山事業を通じた本格復旧を着実に進めます。

また、激甚化・頻発化する気象災害等への対応に向け、治山事業・森林整備事業を着実に実施し、山地災害から国民の生命・財産を守るための防災・減災の取組を進めます。

本格復旧工事実施状況



珠洲市大谷町

②森林整備の着実な実施

間伐等の森林整備を着実に実施し、国有林の多面的機能の発揮を図ります。

また、花粉症対策に向けて、伐採と花粉の少ない苗木への植替えを推進します。



花粉発生源対策のイメージ



花粉の少ない苗木への植替え
(三重県いなべ市：悟入谷国有林)

③林産物の安定供給

国産材の需要の拡大、加工・流通の合理化等に取り組む木材需要者（製材工場等）と協定を締結し、木材を安定供給する「安定供給システム販売」に取り組みます。

また、民有林からの供給が期待しにくい林産物である檜皮ひわだの供給にも引き続き取り組みます。

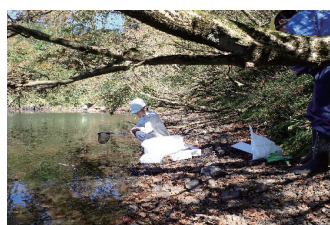


もとかわし
原皮師による檜皮採取
(京都府京都市：鞍馬山国有林)

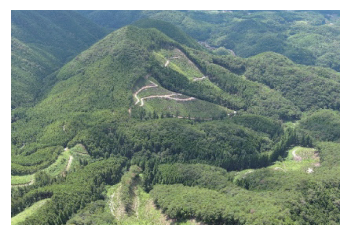
④生物多様性の保全の推進

多様な森林づくりによる生物多様性の保全の取組を進めるとともに、30by30 目標の達成に向け、地域生物多様性増進法に基づく活動への協力などを推進します。

また、原生的な天然林や希少野生生物が生育・生息する森林等を「保護林」として設定し、保護林間を相互に連結する「緑の回廊」とともに適切な保護・管理を行います。



ヤシャゲンゴロウ個体数調査
いわや
(福井県南越前市：岩谷国有林)



林齢や樹種、高さの異なる複層状態の森林
(広島県神石高原町：星居山国有林)

3 民国連携及び民有林支援

①民有林との連携

国有林と民有林が近接する地域において、国有林と民有林が連携して森林整備に取り組む「森林共同施業団地」を設定し、地域における効率的な森林整備の実現に貢献します。

また、森林経営管理法の改正を踏まえて、市町村等からのニーズに応じた地域における集約化の取組への支援を行います。



阿下区域森林整備推進協定の調印式
(令和7年12月)

②民有林関係者等への支援

国有林のフィールド・技術・組織を活かし、現地検討会や局で開催する研修への受け入れ等を通じて、民有林関係者への技術的支援、人材育成への支援を行います。



アニマルネットの設置実演
みのお
(大阪府箕面市：箕面国有林)



ノウサギの被害対策の出張講義
(岡山県真庭市)

「令和7年度 森林土木関連事業者との意見交換会」を開催しました

【森林整備課】

令和8年3月5日（木）、森林土木工事の円滑な実施に向け、各種の情報提供を行うとともに、事業者の皆様から国有林へのご意見等を伺うため、森林土木関連事業者等を対象とした意見交換会を開催しました。



挨拶する上口局長

当日は、近畿中国森林管理局大会議室とWeb会議システムを併用する形で開催され、合計で32の事業者の皆様にご参加いただきました。

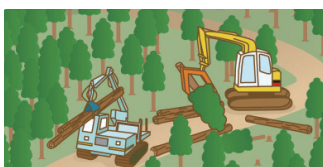
意見交換会では、当局からの事業の発注見通し、ICT技術の活用事例、国有林の位置をwebで確認できる国有林ビューア、林野火災予防に係る注意喚起等の情報提供を行いました。また、事業者の皆様からは日頃の事業実行に当たっての疑問点等に関するご意見やご要望をいただき、当局が円滑な事業を推進していくうえで貴重な情報を得ることができ、有意義な意見交換を行うことができました。



Web会議システムを併用する形の会場の様子

近畿中国森林管理局では、事業者の皆様からいただいた意見をしっかりと検討し、確実な工事の実施に引き続き努めてまいります。

今回の意見交換会の概要や資料については当局のホームページに掲載を予定していますのでご覧ください。



「近畿中国森林管理局 第2回 緑の守り手認定事業者」への認定証の授与式を開催しました。

【治山課】

令和8年3月5日（木）、近畿中国森林管理局において、「近畿中国森林管理局 第2回 緑の守り手認定事業者」への認定証の授与式を開催しました。

授与式では、プラチナグレードとして認定された株式会社泉組、太田建設株式会社に上口局長から認定証の授与を行いました。



太田建設代表、上口局長、泉組代表

また、認定者の皆様からは、認定を受けたことを励みに、引き続き地域の安全・安心に貢献できるよう励んでいきたいとお言葉をいただきました。



授与式の後、局長室で歓談の様子

近畿中国森林管理局では、引き続き、地域の守り手である森林土木事業者の皆様から「選ばれる森林土木」に向けた取組を継続してまいります。

なお、シルバーの認定事業者の皆様には、最寄りの各森林管理署長等から認定証を授与することとしています。（ゴールドの認定事業者は該当なし）

シカ被害対策に関する現地検討会を開催しました。

【広島森林管理署】

令和8年3月4日(水)、広島市安芸北区的押手山国^{おしてやま}有林において、シカ被害対策をテーマとして現地検討会を開催しました。



現地検討会開会の様子

検討会には県・市の獣害担当者や林業事業者など約50名が参加し、鋼製防護柵のほか、従来の樹脂製ネット防護柵や単木保護管などを見学いただき、今後のシカ被害対策について意見交換を行いました。

各地でシカの増加に伴う林業被害が問題となっていますが、生育の途中で樹皮を剥がされたことが原因となって樹木内部に腐れが発生し、伐採後の収益に大きな影響が発生するケースが見られます。

シカ被害対策としては、植栽した苗木の食害を防止するために樹脂製ネットのシカ防護柵が設置されますが、耐用年数は数年程度とされていることから、こうした従来の防護柵では植栽から伐採まで数十年間にわたって剥皮を防止することは困難です。

これに対して、鋼製ネットを使用した防護柵は耐久性が高く、10年以上にわたって被害を防ぐことが可能であると考えられますが、広島県内では農地にしか設置実績がありませんでした。そのため、広島森林管理署では県内で初めてとなる林業用の鋼製防護柵を令和7年度に設置し、剥皮被害に対する有効性について検証を進めてまいります。



設置した林業用の鋼製防護柵を見学する様子

令和7年度七里御浜防風林GG作戦を実施しました

【三重森林管理署】

令和8年2月28日(土)、「七里御浜^{しちりみはま}松林を守る協議会」により七里御浜^{しちりみはま}国有林内の3会場（熊野市会場、御浜町会場及び紀宝町会場）で「令和7年度七里御浜防風林GG作戦」が開催されました。本イベントは、平成5年度から地域住民参加形式で「松くい虫抵抗性クロマツ」苗木の植樹や防風林周辺の清掃活動を行っており、今回で29回目の開催となりました。



紀宝町会場の植栽の様子

当日は快晴のなか、3会場合わせて約130名の地域の方々に参加いただき、各会場80本ずつ計240本の「松



熊野市会場の植栽の様子

くい虫抵抗性クロマツ」苗木を植栽し、会場周辺や海岸のごみ拾いも行いました。参加者からは、「今後もこうした活動を行っていききたい」「とてもいい経験ができた」「この松林を守り育てていきたい」などの声をいただきました。

今回の植栽では、近年の猛暑により苗木が枯れるのを防ぐため、苗木の周りにワラを敷き込みました。

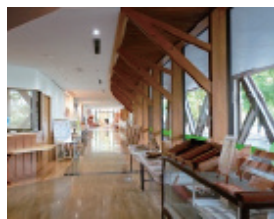
三重森林管理署では、地域の皆様の思いが込められた苗木が立派なクロマツになり、未来の世代へその思いが繋がっていきけるようにこれからも大切に育ててまいります。



御浜町会場の集合写真

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

ホーム > 報道・広報 > イベント情報 > 森林（もり）のギャラリー

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【治山課】

○令和7・8年度緊急応急工事要請対象者について、公表しました。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

ホーム 申請>お問い合わせ 公売>入札情報 入札情報 森林土木工事等に関する事項 > 令和7・8年度緊急応急工事要請対象者について

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/apply/publicsale/nyusatu/20250331_01.html



【箕面森林ふれあい推進センター】

○こだま通信 134号(2026年3月)を発行しました。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

ホーム > 近畿中国森林管理局へようこそ > 森林管理局の概要 > 箕面森林ふれあい推進センター > 発行冊子 こだま通信

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/booklet/kodamatushin.html



こだま通信

Kodama Communication R8.3 No.134

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター



花草木

【コデマリ】

コデマリ(学名: *Spiraea cantoniensis*)は、原産地は中国(中南部)のバラ科シモツケ属の落葉低木です。

高さは1.5mほどになり、幹は重なり合い、枝は細く弓なりに垂れます。樹皮は灰褐色で皮目があります。

花の時期は春(4-5月)で直径1cmほどの白の小花が20個以上集まり、直径3~7cmの球状の花房を形成します。枝が垂れ下がるように咲く姿は美しく、庭木や切り花としても人気です。

この花序(植物の茎や枝における花のつき方や配列のこと)は小さな手毬のように見え、これが名前の由来となっています。遠目にはユキヤナギに似ていますが、花の付き方が違います。

葉は2から4センチほどで互い違いに生え、若い枝葉は赤味を帯びます。



大阪市内の寺院で咲いていたコデマリの花

日本では、よく庭木として植えられています。

コデマリの花言葉は「優雅」「上品」「友情」「努力」「清純」「無邪気」など、純粋で前向きな意味が中心です。

森林事務所等紹介

広島森林事務所（広島森林管理署）

森林官（前任者） 屋森 修一（やもり しゅういち）

広島森林事務所は、広島市中区に所在し、広島市東区、西区、南区、安佐南区、安佐北区、佐伯区、安芸郡府中町の瀬戸内海沿岸部にある国有林約 2,300ha と官行造林地約 370ha を管轄しており、その多くが、瀬戸内海国立公園、土砂流出防備保安林、保健保安林、都市緑地等の指定を受け、施業上の制限があるため各関係機関や公益的機能に配慮した管理経営に当たっています。



うしたやま
牛田山国有林より広島市内を望む

うしなやま
宇品山国有林においては、市街地からも近く、瀬戸内海の眺望景観が望め、希少な天然広葉樹林であることから、自然観察教育の場として多くの人に利用されています。

また、アース・ミュージアム元宇品構想推進委員会と国民参加の森林づくりについて協定を締結し、元宇品界隈の生態系維持のため、広島市・地域住民・自然観察ガイドの方々と連携を図り、国民と一体となって森づくりを実施してきています。

今後も地域住民の皆様に寄り添い、地域に貢献できる森づくりを目指して取り組んでいきたいと思ひます。



うしなやま
宇品山国有林（フェリーからの遠望）

シリーズ『国有林 最前線！』

海岸防災林を守り地域に親しまれる森林への取り組み

あとかばやし
～安宅林国有林～

石川森林管理署

石川森林管理署の所管する^{あとかばやし}安宅林国有林は、小松市に所在する国有林で日本海に面した飛砂で形成された砂地の上にあります。過去には海からの暴風により人家・田畑が埋没する被害が度々発生し、人々の生活を苦しめていました。このため、多くの人々が長い年月と熱意により、長さ約3km、幅200m～300mの約69haという広大な面積に雄大なクロマツ林を造りあげました。

近年では、松くい虫被害の拡大にともない、地元等からクロマツ林の防災林機能の維持と保護を求める要望があがってきたため、専門家の意見を聴きながら薬剤散布及び伐倒駆除を実施しており、令和7年度は、松くい虫被害木537本の特別伐倒処理、地上からの薬剤散布57ha及び樹幹注入755本を実施しました。

また、これまでのクロマツ林を守っていくのはもちろんのこと、クロマツ以外の樹種の計画的な転換を推進するため、次期森林計画では広葉樹の天然更新または人工更新を計画し、被害により空白地帯となった個所への森林を少しでも拡大できるよう、地域住民からの意見も集約しながら取組を進めていきます。なお、当国有林は、地域住民の方に親しまれており、散策路も整備されていることから、季節を問わず多くの方が入林されています。



上空から見た安宅林国有林



地上薬剤散布による防除



安宅小学校5年生と地域住民参加による松葉かき

さらに、安宅林国有林は、「ふれあいの森」を安宅住吉会、「遊々の森」を安宅小学校とそれぞれ協定締結による国民参加の森林づくりとしてフィールドの提供を行っており、地域へ開放した各種イベントも開催されています。

毎年、秋季に当署と安宅小学校5年生児童と地域住民の方々が参加して松葉かきを行っています。開催時には当署職員によるクロマツ林の海岸に果たす役割を伝える講座も設けており、海岸林の重要性を学んでいただいています。実施後の綺麗になった松林を見て、感動している様子で参加者からも好評を得ています。

石川森林管理署では、先人たちが苦勞して造りあげてきた安宅林国有林の防災林としての機能を守るため、今後とも松くい虫被害対策や海岸防災林の維持整備などの取組を地域とともに進めて行くとともに、地域住民から親しまれる森林づくりをこれからも行ってまいります。